



農林水産委員会 林業部会
第2回モクビル研究会

と き：12月2日(金)
ところ：福岡市・九経連会議室 & WEB
出席者：45名

林産業の好循環化及び炭素貯蔵につながる建築物への木材利用拡大（木造ビルの早期実現）を果たすため、「技術力の上昇」と「S C M全体の最適化」等諸課題を洗い出し集合知を形成することを目的とし、2021年度に「モクビル研究会」を発足。今年度は、木造先行事例研究による部会全体の技術力向上と、S C M最適化検討会にて製材情報集約や提案ツール作成などに取り組み、今回第2回目の研究会を実施しました。

【次第】

1. 開会
 - ・リーダー挨拶:モクビル研究会 倉掛リーダー
 - ・趣旨説明:事務局(九経連 農林水産部)
2. 木造建築先行事例研究
 - ・「日本初、岩波の木造4階建て無垢製材あらしビル『睦モクコンビル』建設について」
講師：①睦設計コンサルタント 松本専務
②木構堂 渡邊代表
3. 林業部会S C M最適化検討会
 - ・九州製材所情報(木材供給能力等)の集約について
 - ・川上～川下相互意見等の報告(参加者アンケート)

冒頭、当研究会倉掛リーダー（Fukuoka Timber Building Lab 代表）の挨拶後、事務局より研究会活動の趣旨を説明し、「モクビル研究会 NEWS（かわら版）」の創刊号と提案力向上を目的とした木造建築技術提案ツール（事例集）案のイメージを共有した。

木造建築先行事例研究では、長崎県岩波市の『睦モクコンビル』建設について、睦設計コンサルタント松本専務より同ビルを手掛けた理由や資材調達等苦労した点、木構堂渡邊代表より構造計算を中心に、木造ビルに対応する技術力向上と課題解決に繋がる説明を受けた。



(左) 木構堂渡邊代表 (右) 睦設計コンサルタント松本専務



木構堂説明資料

S C M最適化検討会では、まず、第1回研究会での九州の製材所情報（木材供給能力等）の調査に関する議論と各県のご意見を踏まえ作成したJ A S構造材調査表案（※下イメージ）を提示し、調査内容について各県メンバーを中心に審議を行った。また、当調査のリーダーに、スギの生産量日本一を誇る宮崎県が指定され、同県中心にとりまとめを行うこととなった。

2 「製材」について					
①通常、受注・生産しているもの					
区分	部材名	種類	製品寸法 (幅・せい・長さ)	最低量の制限 (何本以上など)	納期 (かかる日数)
構造材 (梁)					
構造材 (柱)					
②通常生産はしていないが、受注があれば生産できるもの					
区分	部材名	種類	製品寸法 (幅・せい・長さ)	最低量の制限 (何本以上など)	納期 (かかる日数)
構造材 (梁)					
構造材 (柱)					
③将来的に、受注があれば生産してみたいと思うもの					
区分	部材名	種類	製品寸法 (幅・せい・長さ)	最低量の制限 (何本以上など)	納期 (かかる日数)
構造材 (梁)					
構造材 (柱)					

調査表案イメージ (一部)

その後、第1回研究会後実施した参加者アンケート結果を提示し、当活動の方向性と一致するものや課題提起となる意見・アイデア等を抜粋して紹介。研究会は全体を通し、活発に質疑応答・意見交換がなされた。

今後の課題として、先行事例研究（講演・視察による具体事例の共有）による「技術力向上」と、提案ツール完成・公表による需要拡大、そして九州各県の協力による域内製材所情報の管理・活用と、川下情報の利活用を進め、木材サプライチェーン最適化へ取組強化を図っていく。



睦モクコンビル内部断面イメージ



11/24現在の外観